

JA鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

JAグループ鳥取では人権・同和問題に対して「第7次（2018～2020年度）JA鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第7次期間中（2018～2020年度）、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第22回「LGBTと人権について」

みなさんは「LGBT」という言葉をご存じですか？LGBTとはレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われています。

性のあり方には、身体の性以外にも様々な要素があり、「性的指向」と「性自認」に分類されることがあります。「性的指向」とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。これは自分の意志で選び取るというより、多くの場合思春期の頃に気付くものです。

1. Lesbian(レズビアン)・・・女性の同性愛者(心の性が女性で恋愛対象も女性)
2. Gay(ゲイ)・・・男性の同性愛者(心の性が男性で恋愛対象も男性)
3. Bisexual(バイセクシャル)・・・両性愛者(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)

また、「性自認」とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。「心の性」と言われることもあります。多くの人は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人たちもいます。

4. Transgender(トランスジェンダー)・・・「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため、「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」にそって生きたいと望む人も多くみられます。

このような性的少数者に対して、偏見や差別的な発言などの事例が多く発生している現状があります。LGBT当事者の中には、性的指向や性自認をカミングアウトすることによって、「自分を偽ることなく生きたい」と思っている人が数多く存在する中、「カミングアウトをすると、これまでの人間関係が崩壊してしまうのではないだろうか」、「友人や職場の同僚から否定的な反応が帰ってくるのではないだろうか」と悩んで、カミングアウトできない人たちもいます。

もしかしたら皆さんの職場でも同じような悩みを抱えている方がいるかもしれません。職場での理解を進めるため「多様な性について知る機会を設ける」「習慣・常識を変える」「理解者を増やす」取り組みを始めてはどうでしょうか。